

「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」の実現に向けて

～平成24年度重点戦略方針～

I 基本的な考え方

1 新しい長期計画の推進

県では、「愛のくに 愛顔あふれる愛媛県」を基本理念とする新しい長期計画「愛媛の未来づくりプラン」（以下、「新長期計画」）を策定中であり、既に、概ね10年後の愛媛の将来像を描いた長期ビジョン編を示したところである。

また、このビジョンを具現化するための道筋を示す当面4年間のアクションプログラムについては、平成23年中を目途に策定し、今後の県政運営の基本方向を示す新長期計画の全体像を明らかにすることとしている。

平成24年度は、この新長期計画の本格的なスタートに当たる極めて重要な年であるが、不透明な社会経済情勢はもとより、依然として厳しい財政状況の中で、新長期計画を着実に推進するためには、県民目線で真に必要な施策を厳選し、効率的かつ効果的な取組みを展開することにより、選択と集中を更に徹底しながら力強く新たな一步を踏み出す必要がある。

2 県政を取り巻く環境

本県では、本格的な人口減少や急速な高齢化が全国に先行して進行しており、市場規模の縮小や労働力人口の減少などによる地域経済の活力低下が懸念されている。

また、激動する世界経済の中で、今後の国際的な貿易関係のあり方に不透明感が広がっているほか、円高基調が続けば、県内産業の減収減益や空洞化を招きかねず、雇用や所得の確保など、県民の生活基盤をも揺るがしかねない厳しい局面を迎えることも想定しなければならない。

さらに、東日本大震災や原子力発電所事故による未曾有の被害は、南海地震による被害が想定され、しかも、四国唯一の原発立地県である本県にとっても、多くの課題を顕在化させており、これらに、迅速かつ適切に対応することが急務となっている。

一方、高速道路の宇和島延伸を間近に控えた南予地域の活性化、坂の上の雲ドラマ効果や愛媛国体の正式内定による大会気運の盛り上がりを活かしたにぎわい創出などについては、好機を逃すことなく的確に対応する必要があり、こうした山積する県政課題に対して、着実な取組みを進めなければならない。

3 重点戦略方針の策定

新長期計画を柔軟性と実効性を確保しながら着実に推進するため、平成24年度において、特に力点を置いて取り組む必要のある施策分野等について、県政を取り巻く環境を踏まえて選定し、重点戦略方針として示すこととする。

II 重点的な取組み方針

産業分野の「生き活きとした愛顔」、暮らし分野の「やすらぎの愛顔」、人づくり分野の「輝く愛顔」、そして、環境分野の「やさしい愛顔」の4つの愛顔づくりに向けて、県民ニーズやこれまでの取組みの状況などを踏まえたうえで、知事公約の着実な実現も見据えながら、直面する喫緊の課題にスピード感を持って対応するとともに、中長期的な視点が必要な課題についても的確な対策を講じることとする。

1 重点的に取り組む施策分野

(1) 愛媛の資源と人材を活用した活力創造【産業分野】

平成24年度においては、為替水準が当面、現状のレベルで推移することや国際的な貿易交渉の方向性が示されることも想定しながら、足腰の強い産業活動が展開できるよう各種施策を積極的に講じ、本県の活力創造に向けた取組みを強力に推進する必要がある。

このため、愛媛の多彩な資源が持つ強みや本県ならではの魅力を更に高め、発揮することを目指して、産学官はもとより、産業間、異業種間においても連携を深めながら、お互いの技術や知識を結集し、新たな産業や付加価値の創出などに取り組むほか、県内産業の持続的発展を支える人材力の強化や担い手の確保、更には、広域的な交通基盤の整備などを通じて、暮らしの要となる雇用と所得の安定的確保に努め、豊かな県民生活の実現につなげることとする。

また、愛媛の魅力を県内外に発信することによって、本県の認知度とブランド力の向上を図るとともに、高速道路の宇和島延伸や坂の上の雲ドラマ放映の効果などを活かした観光振興にも取り組むことにより、愛媛ファンづくりと県内外からの誘客に努めることとする。

《重点施策分野》

- (新産業の創出と産業構造の強化)
- (若年者等の就職支援と産業人材力の強化)
- (力強い農林水産業を支える担い手の確保)
- (広域・高速交通ネットワークの整備)
- (愛媛製品のブランド力向上と販路拡大)
- (魅力ある観光地づくり)

(2) 県民の命と健康を守る安全・安心の確保【暮らし分野】

平成24年度においては、東日本大震災や原発事故によって明らかになった課題や新たな知見を踏まえた実効性のある津波被害対策や原子力防災対策の実現が求められており、国による計画や指針の見直し状況も見極めながら、迅速に対応する必要がある。

このため、防災施設の整備はもとより、災害発生時の円滑な情報伝達や初動体制の迅速な確立に向けた取組みを進めるとともに、最前線に立つ市町との連携も図りながら実践的な避難訓練を行うなど、防災力の更なる強化に取り組むこととする。

また、東日本大震災により、重要性が改めて認識された人と人とのつながりを再生し、コミュニティ機能が暮らしの基盤として根付いた地域づくりを進めるとともに、すべての県民が健康でいきいきとした生活を送ることできるよう、適切な医療提供体制の充実を図ることとする。

さらに、介護等が必要になった高齢者を地域全体で支える社会づくりを進め、急速に進む高齢化への対策にも意を用いることとする。

《重点施策分野》

- (防災・危機管理体制の充実)
- (災害から県民を守る基盤の整備)
- (原子力発電所の安全・防災対策の強化)
- (未来につなぐ協働のきずなづくり)
- (安全・安心で質の高い医療提供体制の充実)
- (高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現)

(3) たくましい子どもたちの育成と愛媛国体に向けた着実な準備【人づくり分野】

平成24年度においては、国勢調査により明らかになった本格的な人口減少社会の到来をしっかりと受け止め、それに対応するため、少子化対策に力点を置くとともに、たくましい子どもたちを育むことに焦点を当てた施策展開が急がれている。

このため、子育てを地域全体で支える社会づくりを進め、安心して子どもを産み育てることが出来る環境を整備するとともに、成長の礎となる確かな学力の定着と更なる向上に向けて、子ど

もたちの実態を分析しながら授業の改善等に取り組むほか、社会的自立を促すための多様な教育を推進するなど、知、徳、体をバランスよく養うことができる学習機会の提供を通して、子どもたちの育成に努めることとする。

また、平成 29 年度開催が正式に内定される予定である愛媛国体について、計画的に開催準備を進めることとする。

《重点施策分野》

- (安心して産み育てることができる環境づくり)
- (確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進)
- (競技スポーツの振興)

(4) 自然環境の保全と経済活動が好循環する社会の構築【環境分野】

平成 24 年度においては、大震災や原発事故により見直し議論が活発化しているエネルギー問題への対応を含め、環境と調和した持続可能な社会の構築に向けた取組みを加速させる必要がある。

このため、本県の大きな強みでもある西日本最高峰の石鎚山をはじめとする豊かな自然環境やそこで育まれた生物多様性の保全に努めるとともに、それらを利用した地域の活性化にも取り組むなど、自然環境等の保全と適正利用を両立させながら、その魅力を最大限発揮することのできる活動を進めることとする。

また、国におけるエネルギー政策のあり方についての議論を見極めながら、県地域新エネルギービジョンを見直すとともに、バイオマスや太陽光など、本県の地域特性を活かした環境にやさしい再生可能エネルギーの利用促進を図ることとする。

《重点施策分野》

- (豊かな自然環境と生物多様性の保全)
- (再生可能エネルギーの利用促進)

2 重点的に取り入れる推進姿勢

地方分権が進展する中で、地域の実情や特性を活かした個性的な地域づくりを進めるためには、住民に身近な基礎自治体の役割を重視しながら、県と市町が対等の立場で協調・連携することが極めて重要であり、「チーム愛媛」として取り組んだ東日本大震災の被災者に対する支援策の効果等も踏まえ、市町との二重行政の解消や県・市町が一体となった総合的な行政運営に取り組むなど、基礎自治体との交流・連携による施策推進を重点的に進める。

《重点的推進姿勢》

- (「チーム愛媛」の推進による基礎自治体との連携)

Ⅲ その他

(1) 平成 24 年度当初予算での取り扱いについて

Ⅱで定めた重点施策分野等に係る事業のうち新規性、独創性の高い事業については、「平成 24 年度当初予算の編成について」(平成 23 年 10 月 26 日付け 23 財第 205 号)に基づき、特別枠を活用するなど、重点的な取組みを進めることとする。

(2) 部局横断的な検討による事業の企画立案

重点施策分野に該当する事業の企画立案に当たっては、必要に応じて、部局横断的な検討を加えることにより、実効性の高い斬新な取組みを構築することとする。

なお、平成 24 年度の「みんなの愛顔づくりプロジェクト」として既に選定している以下の 2 テーマについては、プロジェクトチームにより事業化の検討を進めることとする。

- 高齢者による愛顔の子育て環境づくり
- しまなみ海道の新たな魅力創出